

私たちの街では、

こんなことをやっています

地域社会づくり推進委員会、「街かど花いっぱい運動」に三ッ谷西地区も参加しました。

堀川菖蒲園の北側市道三角地に万古焼の廃材を再利用し、花壇を造りました。ご近所の方々の協力を得て水をやったり、手入れをしていただいております。花づくりを通してふれあいの場となっております。

気のせいか、最近では海蔵川河川敷を、散策したり、ジョギングされる方々を多く感じます。春には桜の花が咲き誇り、初夏には菖蒲の花が咲き、この街が日一日と住み良い環境が整いつつあることを喜ぶとともに、お世話になっている方々への感謝でいっぱいです。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。



三ッ谷西区

「海蔵の寺社」

シリーズその⑩

野田神社

今回は野田町南方の田園に囲まれて鎮座します「野田神社」をご紹介します。

祭神は「建速須佐之男命・菅原道真」宮司は加藤貞一氏であります。

当神社は、旧幕時代午頭王社と称したが、明治以降野田神社と改称し、明治四十年神社合祀の際、天満天神社を合祀した。

氏は野田町住民である。

天満天神社は野田半次郎氏（徳丸氏が野田と改称）がその主人の三井家から天満天神の画像を頂き、村内長久繁栄のため、明治五年（一八六八年）戌六月社祠を造営し、これを奉祀したもので古くは徳丸氏の個人の持社であった。

神社はいつも奉賛会の皆様のお世話により、年間を通して天神祭、秋の大祭、元旦祭など十一回祭礼が営まれています。



バリアフリーマップづくり

バリアフリーマップづくり
実行委員会

バリアフリーとは、社会生活の中でバリア（障壁）（段差、階段等）全てをとりはらって、住みよい社会づくりをめざす考えです。この理念は、障害のある方だけを対象としたものでなく、全ての人が自分自身の問題として関心をもつ事が重要です。

私達が住んでいる海蔵地区が障害のある人ない人、幼い子供達から高齢者まで誰もが安心して生活出来る街になるようにバリアフリーマップづくりの活動を行なっています。この活動を通じて多くの人とふれ合い、お互いの立場や考え方を知って、「この地区に暮らしてよかった」と感じるような街づくりにつながる事を願っています。

例えば道路の段差や階段は人のやさしさで乗り越えられます。この「心のバリアフリー」こそ大切なテーマです。この春そんな思いをまず、手作りマップから発信したいと思うのです。

「環境さえ整っていればボクのような体の不自由な障害者は障害者でなくなる」

乙武 洋匡 著 『五体不満足』

〈心のバリアフリー〉 抜粋

少子高齢化が進み、益々高齢者だけの家庭が増えてきています。

ほんの小さなことを行うにも大変です。

「トントントンカラリと、隣組」ではないですが、向こう3軒両隣。

人情豊かな小さな福祉ネットワークがあれば、日常生活から災害時まで、大きな協力体制がとれるのではないのでしょうか。

広報部一同

編集
後記